

# 奈良県の自殺の現状と 当センターの取組み

奈良県精神保健福祉センター

平成 29 年 4 月



ココならちゃん

## はじめに

我が国では、平成 10 年以降自殺者数は増加の一途をたどり、まずその対策として、平成 18 年に「自殺対策基本法」が成立、平成 19 年策定の「自殺総合対策大綱」を受け、現在も地域での実践的な取り組みが各方面で進められています。さらに平成 28 年に「自殺対策基本法」が改正され、都道府県および市町村は、自殺対策についての計画を定めることとされ、地域の実情などを勘案した実践的な取り組みが求められています。

内閣府統計によると、全国の自殺者数は、平成 10 年以降 3 万人を上回り、平成 24 年になり 2 万人台へと転じました。奈良県においても同様に、平成 10 年に急増し、以降 300 人前後で推移していましたが平成 18 年からは減少に転じました。以降平成 20 年を除く平成 23 年まで、自殺死亡率に着目すると全国一低く、奈良県の自殺者は少ないと言われてきました。しかし、ここ数年は全国的にも自殺死亡率は減少傾向にあり、奈良県の自殺死亡率との差が年々小さくなっているのが現状です。

奈良県の傾向として、20 歳代の全死亡者に対する自殺による死亡者の割合が、平成 26 年で約 5 割、平成 27 年が約 4 割と全国と同様に深刻な状況が続いています。若年者の自殺は社会に与える衝撃や負の影響が特に大きいため、若年者の自殺予防に対して、引き続き重点課題として取り組む必要があると考えております。

また当センターでは、平成 21 年度より「地域自殺対策緊急強化基金」を活用し、自殺対策に積極的に取り組んできました。平成 22 年 1 月から相談専用電話「なら自死遺族・こころのホットライン」を開設し、自死遺族の方や自殺予防に関わる相談事業を始めました。また、“自殺予防週間”や“自殺予防強化月間”など普及事業において、テレビやラジオ、デジタルサイネージ、県民だよりなどのマスメディアを活用し、啓発活動を展開しているところです。

さらに平成 24 年度からは、県内各市町村や諸関係機関などの職員を対象に、自殺予防に関わる人材養成研修（ゲートキーパー養成研修、指導者養成研修等）を実施し、「県民一人一人がゲートキーパー」を合い言葉に、早期対応の中心的役割を果たす人材育成を進め、『いのちとこころを守るつながりのある地域づくり』に努めています。

このたび、奈良県における自殺者のデータを、年齢別や地域別等に集計・分析を行い、当センターの取組みをまとめました。自殺対策について、行政機関、教育機関、民間団体等をはじめ、県民の皆様が理解を深め、社会全体における問題として解決していく上で、この冊子を是非ご活用いただければ幸いです。

今後も「死にたいと思うほど悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなぎ、見守っていける地域の輪」を一層広げていく所存でございますので、引き続き皆様の力強いご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成 29 年 4 月

奈良県精神保健福祉センター所長 村井 孝行

# 目次

## 第1部 奈良県の自殺の現状

### 1 県の自殺の現状

(1) 自殺者数の推移	1
(2) 自殺死亡率の推移	1
(3) 自殺者数と自殺死亡率の長期的推移	2
(4) 男女別の自殺の状況	3
(5) 死因別の自殺の状況	4
(6) 原因・動機別の自殺の状況	5
(7) 職業別の自殺の状況	6

### 2 市町村別の自殺の現状

(1) 市町村別自殺者数の性比	7
(2) 市町村の状況	8

### 3 まとめ

#### ○参考資料

・本書で用いた統計資料	10
・統計に関する参考資料	11
・奈良県の市町村別人口	12

## 第2部 当センターの取組み

### 1 相談事業から見る自殺の動向・自殺予防

(1) 平成23年～平成27年「ならこころのホットライン」相談内訳より	13
-------------------------------------	----

### 2 ハローワークでほっとコーナー

### 3 ゲートキーパー養成状況

(1) 市町村別ゲートキーパー養成講座開催状況	20
(2) 関係機関別ゲートキーパー養成講座開催状況	21

### 4 ゲートキーパー指導者養成状況

(1) ゲートキーパー指導者養成研修	22
--------------------	----

### 5 自殺予防に関わる人材養成研修

### 6 ゲートキーパー普及啓発

(1) ゲートキーパーパネル展示	25
(2) デジタルサイネージの放映	25
(3) その他の啓発	26
(4) 「こころの日」のイベント	26





# 第1部

## 奈良県の自殺の現状

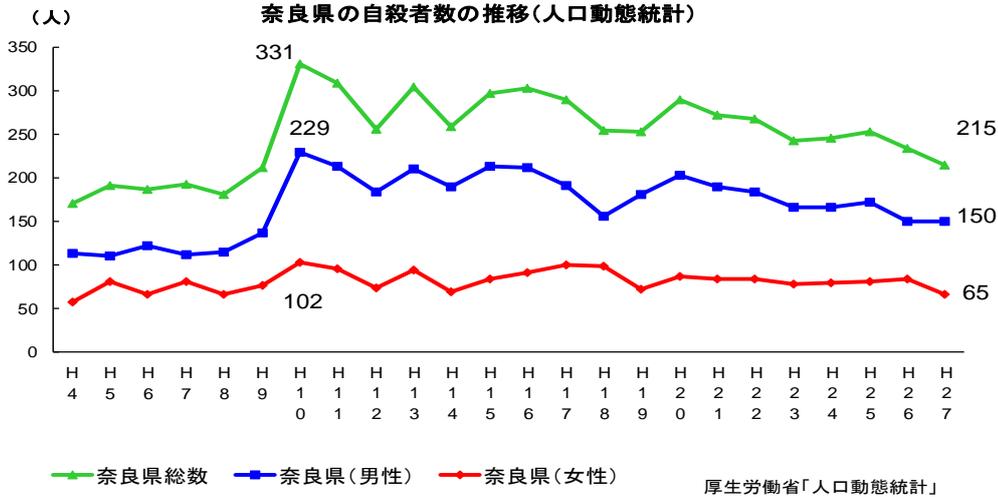
---

# 1 県の自殺の現状

## (1) 自殺者数の推移

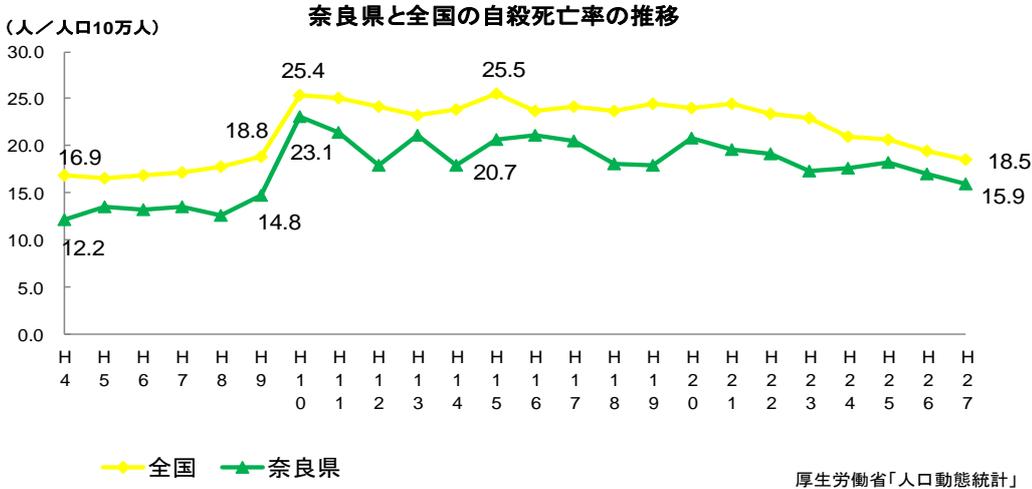
奈良県の自殺者数の推移をみると、厚生労働省の人口動態統計によれば、昭和53年以降は200人前後で推移していたのが、平成10年に急増し、300人前後の高い水準が続いていました。平成20年以降は、平成23年まで減少し、一旦平成25年にかけて微増しましたが、平成26年から減少に転じ、平成27年は215人でした。

男女別にみると、男性については、平成10年に前年の136人から229人へと1.7倍に急増し、これ以降200人前後で推移していましたが、平成21年以降は200人を下回りました。女性については、男性ほどの急増は見られませんが、平成10年に前年の76人から102人へと1.3倍の増加がみられ、平成19年以降は100人を下回り横ばい状態です。



## (2) 自殺死亡率の推移

自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺者数）は、全国では平成10年に前年の18.8%から25.4%と急増しました。奈良県では、平成10年に前年の14.8%から23.1%に急増しましたが、その後は20.0%前後で推移しています。平成27年は、全国、奈良県ともに、前年に比べ減少しました。



### (3) 自殺者数と自殺死亡率の長期推移

奈良県の最近の自殺死亡率の順位は、全国に比べて低く、平成 17 年以降 42 位～47 位を推移しています。

奈良県は、世帯平均貯蓄額が全国的にトップレベルであり、酒類の消費量が低いことが、全国で低い自殺死亡率である背景要因の一つであると考えられます。(※<sup>1</sup>)

最新の自殺者数と自殺死亡率の長期的推移については、奈良県精神保健福祉センター及び厚生労働省のホームページにおける自殺統計をご覧ください。

年	自殺者数		自殺死亡率		全国順位 (自殺死亡率)
	奈良県	全国	奈良県	全国	
S50	172	19,975	16.0	18.0	37 位
S55	204	20,542	17.0	17.7	30 位
S60	226	23,383	17.4	19.4	38 位
S61	225	25,667	17.2	21.1	44 位
S62	217	23,831	16.4	19.6	43 位
S63	224	22,795	16.7	18.7	37 位
H1	196	21,125	14.5	17.3	43 位
H2	181	20,088	13.2	16.4	46 位
H3	188	19,875	13.6	16.1	41 位
H4	170	20,893	12.2	16.9	47 位
H5	190	20,516	13.5	16.6	44 位
H6	187	20,923	13.2	16.9	47 位
H7	192	21,420	13.5	17.2	46 位
H8	180	22,138	12.6	17.8	47 位
H9	212	23,494	14.8	18.8	47 位
H10	331	31,755	23.1	25.4	36 位
H11	308	31,413	21.4	25.0	41 位
H12	256	30,251	17.9	24.1	47 位
H13	304	29,375	21.2	23.3	38 位
H14	258	29,949	18.0	23.8	47 位
H15	296	32,109	20.7	25.5	45 位
H16	303	30,247	21.3	24.0	36 位
H17	290	30,553	20.5	24.2	43 位
H18	254	29,921	18.1	23.7	47 位
H19	252	30,827	18.0	24.4	47 位
H20	290	30,229	20.6	24.0	41 位
H21	272	30,707	19.6	24.4	47 位
H22	267	29,554	19.2	23.4	47 位
H23	242	28,896	17.4	22.9	47 位
H24	245	26,433	17.7	21.0	44 位
H25	252	26,063	18.3	20.7	42 位
H26	234	24,417	17.1	19.5	43 位
H27	215	23,152	15.9	18.5	45 位

順位：自殺死亡率の高い方からの順位

資料：厚生労働省「人口動態統計」

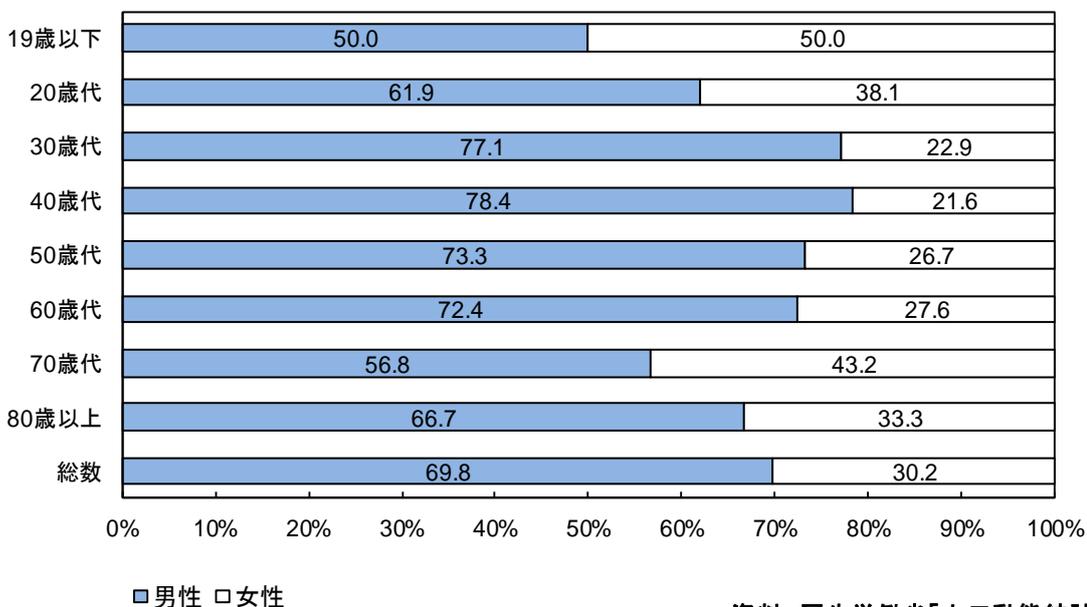
※<sup>1</sup> 奈良県の自殺死亡率低位検証について報告書（平成 24 年 12 月）

3. 自殺死亡率低位検証のまとめ（まとめ 7）

#### (4) 男女別の自殺の状況

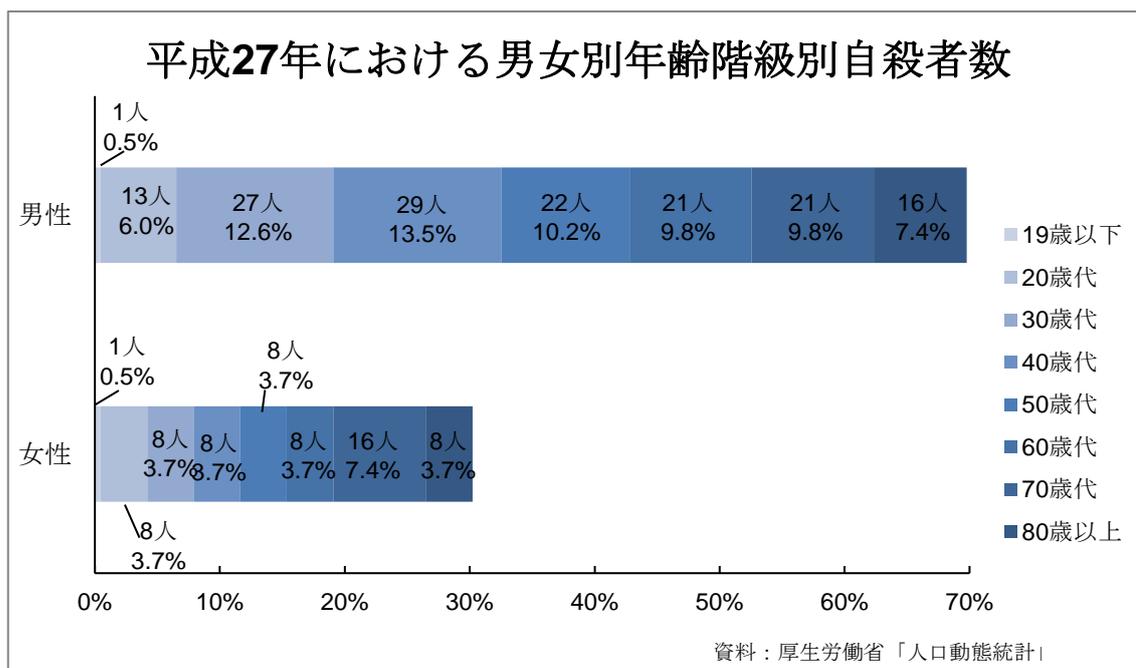
奈良県の平成27年における男女別年齢階級別の自殺者数構成割合をみると、ほぼ全ての年齢階級において男性が女性より高くなっています。

#### 平成27年における男女別年齢階級別の自殺者数の構成割合



資料：厚生労働省「人口動態統計」

男女別年齢階級別の自殺者数についてみると、男性では、40歳代の全自殺者数に占める割合が13.5%と最も高く、次いで30歳代が12.6%となっています。女性では、70歳代が7.4%と最も高くなっています。



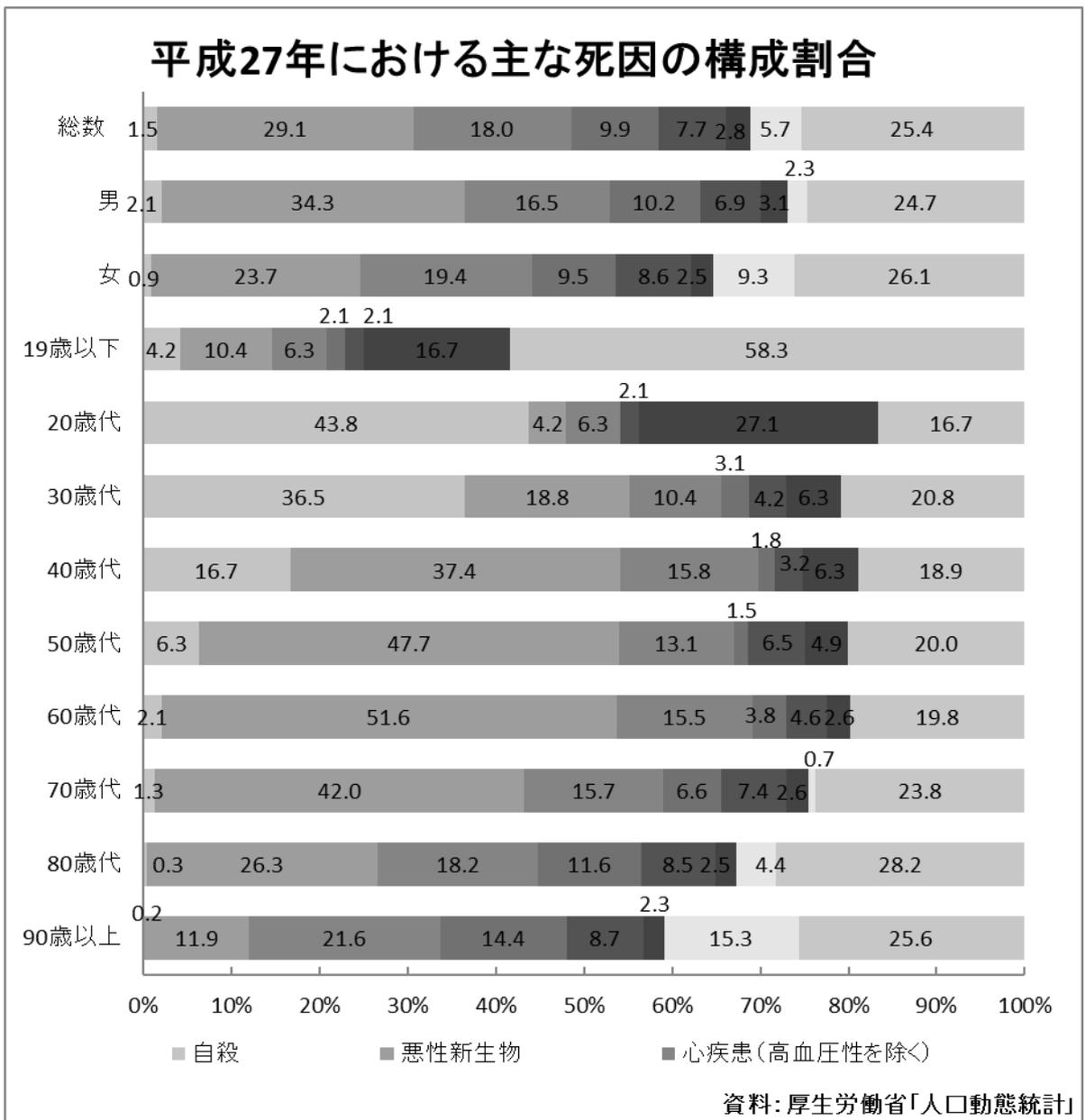
### (5) 死因別の自殺の状況

平成 27 年における奈良県の全死亡者の主な死因の構成割合は、高い順に「悪性新生物」(29.1%)、「心疾患」(18.0%)、「肺炎」(9.9%)、「脳血管疾患」(7.7%)、「老衰」(5.7%)、「不慮の事故」(2.8%) となっており、「自殺」(1.5%) は第 7 位となっています。

男女別にみると、男性の「自殺」(2.4%) は第 6 位、女性の「自殺」(1.2%) は第 7 位となっています。

全死亡者のうち「自殺」の占める割合を、年齢階層別にみると 20 歳代では 4 割、30 歳代では 3 割をそれぞれ超えており、特に高くなっています。また死因の順位を年齢階層別にみると、20 歳代と 30 歳代では、死因順位の第 1 位となっており、40 歳代では第 3 位、50 歳代では第 4 位となっています。

これらのことから、若年層の自殺対策が必要であると考えられます。



資料: 厚生労働省「人口動態統計」

	H23			H24			H25			H26			H27		
	全死亡者数	自殺	割合												
19歳以下	51	5	9.8%	58	3	5.2%	52	6	11.5%	53	5	9.4%	48	2	4.2%
20歳代	49	17	34.7%	62	26	41.9%	52	32	61.5%	71	37	52.1%	48	21	43.8%
30歳代	130	49	37.7%	101	34	33.7%	96	37	38.5%	85	25	29.4%	96	35	36.5%
40歳代	241	37	15.4%	200	37	18.5%	259	48	18.5%	233	33	14.2%	222	37	16.7%
50歳代	544	41	7.5%	525	33	6.3%	472	25	5.3%	487	38	7.8%	474	30	6.3%
60歳代	1564	44	2.8%	1558	48	3.1%	1573	40	2.5%	1480	44	3.0%	1407	29	2.1%
70歳代	3003	27	0.9%	3074	44	1.4%	3052	39	1.3%	2992	33	1.1%	2851	37	1.3%
80歳代	4767	19	0.4%	5064	15	0.3%	5196	19	0.4%	5206	16	0.3%	5230	18	0.3%
90歳代	2918	3	0.1%	3014	5	0.2%	3277	6	0.2%	3228	3	0.1%	3544	6	0.2%

資料：厚生労働省「人口動態統計」

### (6) 原因・動機別の自殺の状況

警察庁の統計では、遺書等により原因・動機が特定できるものについて、自殺の原因・動機を統計分析しています。

原因・動機別の自殺の状況については、平成23年の自殺統計から、原因・動機を最大3つまで計上することとし、より詳細な原因・動機を公表しています。

平成28年における自殺者の自殺の原因・動機別件数をみると、原因・動機特定者は174人、原因・動機不特定者は25人となっており、原因・動機特定者の原因・動機は「健康問題」がのべ127人と最も多く、次いで「家庭問題」がのべ45人、「経済・生活問題」がのべ42人、「勤務問題」がのべ17人、「男女問題」がのべ5人、「学校問題」がのべ4人となっています。

#### ●平成24～28年における自殺者の自殺の原因・動機別件数

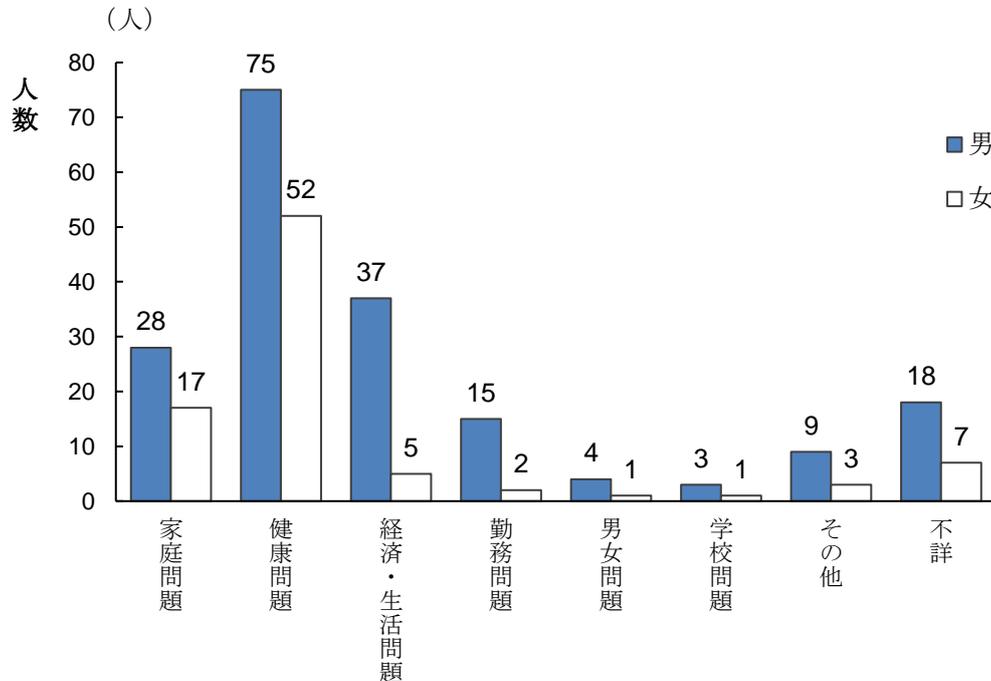
	自殺者数	原因・動機特定者							不詳
		家庭問題	健康問題	経済・生活問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	
平成28年	199	45	127	42	17	5	4	12	25
平成27年	239	60	139	65	31	8	1	13	33
平成26年	250	54	149	61	33	12	3	20	38
平成25年	242	37	109	44	19	6	7	7	75
平成24年	261	21	117	35	14	5	5	11	102

資料：警察庁「自殺統計（発見地・発見日）」より奈良県精神保健福祉センター作成

男女別にみると、男性では「健康問題」75人が最も多く、次いで「家庭問題」28人となっています。

女性では「健康問題」52人が最も多く、次いで「家庭問題」17人となっています。

## 平成28年 原因・動機 男女の比較



資料：警察庁統計 平成28年中における自殺の状況

### (7) 職業別の自殺の状況

平成28年における職業別にみた自殺者数は、「無職者」が111人(55.8%)と自殺者の大半を占め、次いで「被雇用者・勤め人」46人(23.1%)、「自営業・家族従事者」13人(6.5%)、「主婦」12人(6.0%)、「学生・生徒等」9人(4.5%)の順となっています。

#### ●平成28年における職業別の自殺者数

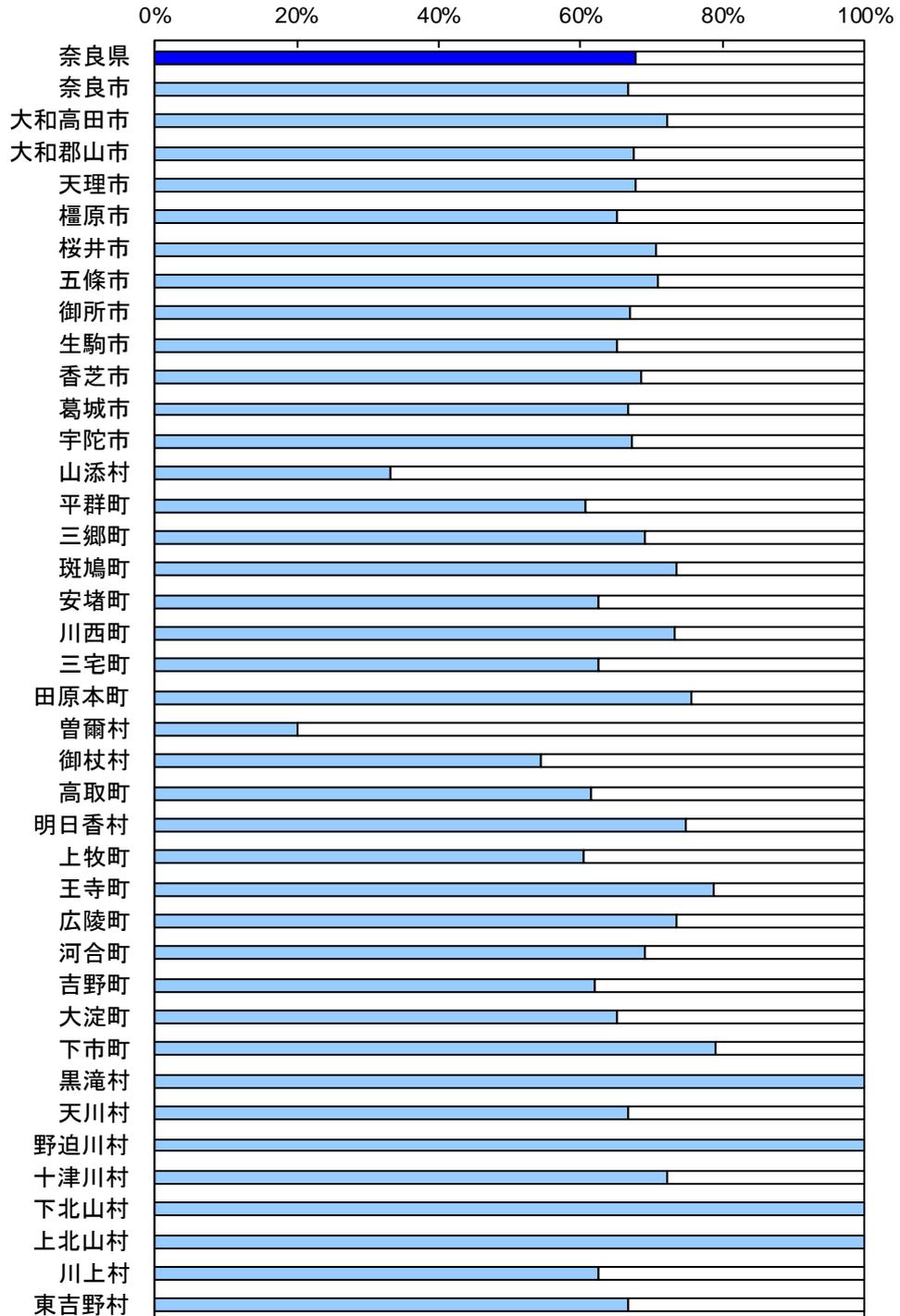
	自営業 家族従事者	被雇用者 勤め人	学生 生徒等	無職		不詳	総数
				主婦	無職者		
計	13	46	9	12	111	8	199
構成比	6.5%	23.1%	4.5%	6.0%	55.8%	4.0%	100%

資料：警察庁統計 平成28年中における自殺の状況

## 2 市町村別の自殺の現状

### (1) 市町村別自殺者数の性比（平成 16 年～平成 27 年）

平成 16 年から平成 27 年までの自殺者数における男女の比率を市町村別に示しました。



□男 □女

資料：厚生労働省「人口動態統計」

## (2) 市町村の状況

- ◆市町村は平成 27 年 3 月 31 日現在の市町村に基づき集計しました。
- ◆性別・年齢別死者数は、人口動態調査死亡票データをもとに、平成 17 年から平成 27 年の自殺者数を掲載しました。なお、年齢不詳者については除外しました。
- ◆自殺急増後の平成 17 年から平成 27 年における年齢階級別自殺者数の割合を男女別に円グラフで示しました。自殺者数が年齢階級 2 階級以下の場合は、円グラフを省略しました。
- ◆各市町村の状況につきましては、別添の  市町村別状況のファイルをご確認ください。

### 3 まとめ

- 奈良県の自殺者は、平成 10 年以降毎年 300 人前後で推移し、全国と同様に平成 10 年から継続して自殺者が多い傾向でしたが、平成 21 年以降は減少傾向にありました。そして、平成 24 年、25 年に再び微増傾向を示しましたが、平成 26 年以降は、再び減少に転じました。
  - 奈良県では平成 10 年以降の自殺者数の増加は、45－64 歳の年齢層の自殺者が増えたことが要因として考えられます。また、平成 24 年、25 年は、20 歳代をはじめとした若年層の自殺者の増加が影響していると考えられます。
  - 男女別及び年齢別では、平成 27 年の人口動態統計によると、40 歳代の男性の自殺者が最も多く、次いで 30 歳代の男性の自殺者が多くなっています。また、全ての階級において男性の占める割合が女性よりも高くなっています。
  - 死因別にみると、20 歳代、30 歳代では「自殺」は死因順位の第 1 位で、特に平成 25 年、26 年においては、20 歳代で 5 割を超え、若年層の自殺対策が必要であると考えられます。
  - 職業別の自殺者数では、無職者が最も多く、次に被雇用者となっています。
  - 自殺の理由別では、「健康問題」が最も多く、次いで「家庭問題」、「経済・生活問題」となっています。
- さまざまな視点から、奈良県における自殺の現状をまとめましたが、考えられる自殺の要因に応じた関係機関と連携し、自殺予防に向け引き続き取り組んでいきます。

## ○参考資料

### <本書で用いた統計資料>

#### 1. 厚生労働省 人口動態統計

- (1) 政府統計として公表されているもの  
政府統計の総合窓口 (<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>)
- (2) 奈良県医療管理課より平成 16 年から平成 25 年までの自殺を死因とする奈良県内に住所を有する死亡者に関する統計資料の許可を得て集計したもの
- (3) 自殺対策のための自殺死亡の地域統計 (平成 25 年 3 月)  
発行者 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所自殺予防総合対策センター  
センター長 竹島 正  
著 書 情報・システム研究機構 統計数理研究所 教授 藤田利治  
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 山内貴史、立森久照

#### 2. 警察庁データに基づく自殺統計

厚生労働省自殺統計ホームページより

##### ●厚生労働省の人口動態統計と警察庁の自殺統計の違い

厚生労働省の人口動態統計は、国内の日本人を対象として、死亡時点での住所地をに計上しています。

警察庁の自殺統計は国内総人口（日本に在住する外国人を含む。）を対象として、発見地を基に自殺死体と認知された時点で計上しています。

なお、「原因・動機別」と「職業別」については、警察庁のデータを元に統計分析しています。

#### 3. 奈良県の自殺死亡率低位検証について 報告書

- (1) 既存マクロ統計データーを活用した調査
- (2) 厚生労働省 人口動態統計の分析結果を活用した近畿 3 県比較調査 (三重・和歌山・奈良)
- (3) 自殺対策県民意識調査 (こころの健康に関する意識調査)
- (4) 県内宗教団体への自死問題調査

## <統計に関する参考資料>

(1) 統計用語説明 【「自殺対策のための自殺死亡の地域統計」(平成23年3月)より引用】

①自殺死亡数

日本における日本人の自殺死亡数

②自殺死亡率(年間の場合)

$$= \frac{\text{年間の自殺死亡数(総数・男・女)}}{\text{10月1日現在の日本人人口(総数・男・女)}} \times 100,000$$

③年齢階級別自殺死亡率(年間の場合)

$$= \frac{\text{年間の年齢階級別自殺死亡数(総数・男・女)}}{\text{10月1日現在の日本人(総数・男・女)の年齢階級別人口}} \times 100,000$$

＜奈良県の市町村別人口＞

平成 28 年 10 月 1 日現在

市 町 村	人 口 ( 人 )
奈良市	358,786
大和高田市	64,156
大和郡山市	86,466
天理市	67,012
橿原市	123,640
桜井市	56,763
五條市	30,369
御所市	26,502
生駒市	118,084
香芝市	78,103
葛城市	36,720
宇陀市	30,415
山添村	3,578
平群町	18,736
三郷町	23,573
斑鳩町	27,267
安堵町	7,415
川西町	8,435
三宅町	6,813
田原本町	31,477
曾爾村	1,508
御杖村	1,697
高取町	7,087
明日香村	5,483
上牧町	21,903
王寺町	23,218
広陵町	33,568
河合町	17,742
吉野町	7,159
大淀町	17,729
下市町	5,500
黒滝村	637
天川村	1,311
野迫川村	424
十津川村	3,399
下北山村	858
上北山村	488
川上村	1,267
東吉野村	1,662
県計	1,356,950